

令和3年度 決算

問合せ
財政課
☎ 73・8008

一般会計の歳入の決算額は、国庫支出金の減などにより前年度と比較して微減となりました。
歳出の決算額は、特別定額給付金の給付終了に伴う補助金などの減により微減となりました。

市の貯金 ― 基金残高

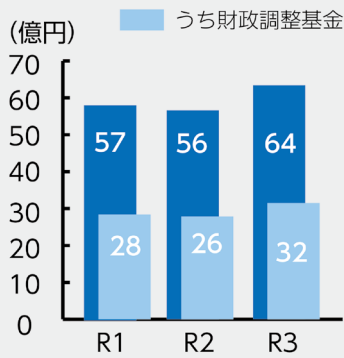
16種類の基金（貯金）があり、総額は約64億4000万円となっています。そのうち50.7%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。令和3年度は、約6億5000万円を積立ています。

市の借金 ― 市債残高

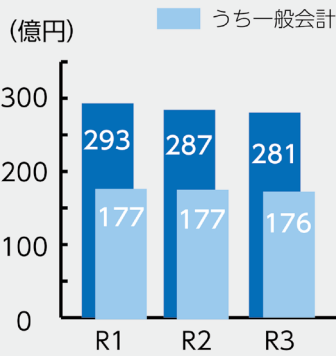
市の借金である市債の現在高は約281億1000万円です。前年度と比較して、一般会計で約200万円、その他の会計で約5億6000万円減少しています。

公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

基金総額推移



市債残高推移



一般会計歳入決算額

188 億 8,425 万 9 千円
(対前年度比 0.8%減)

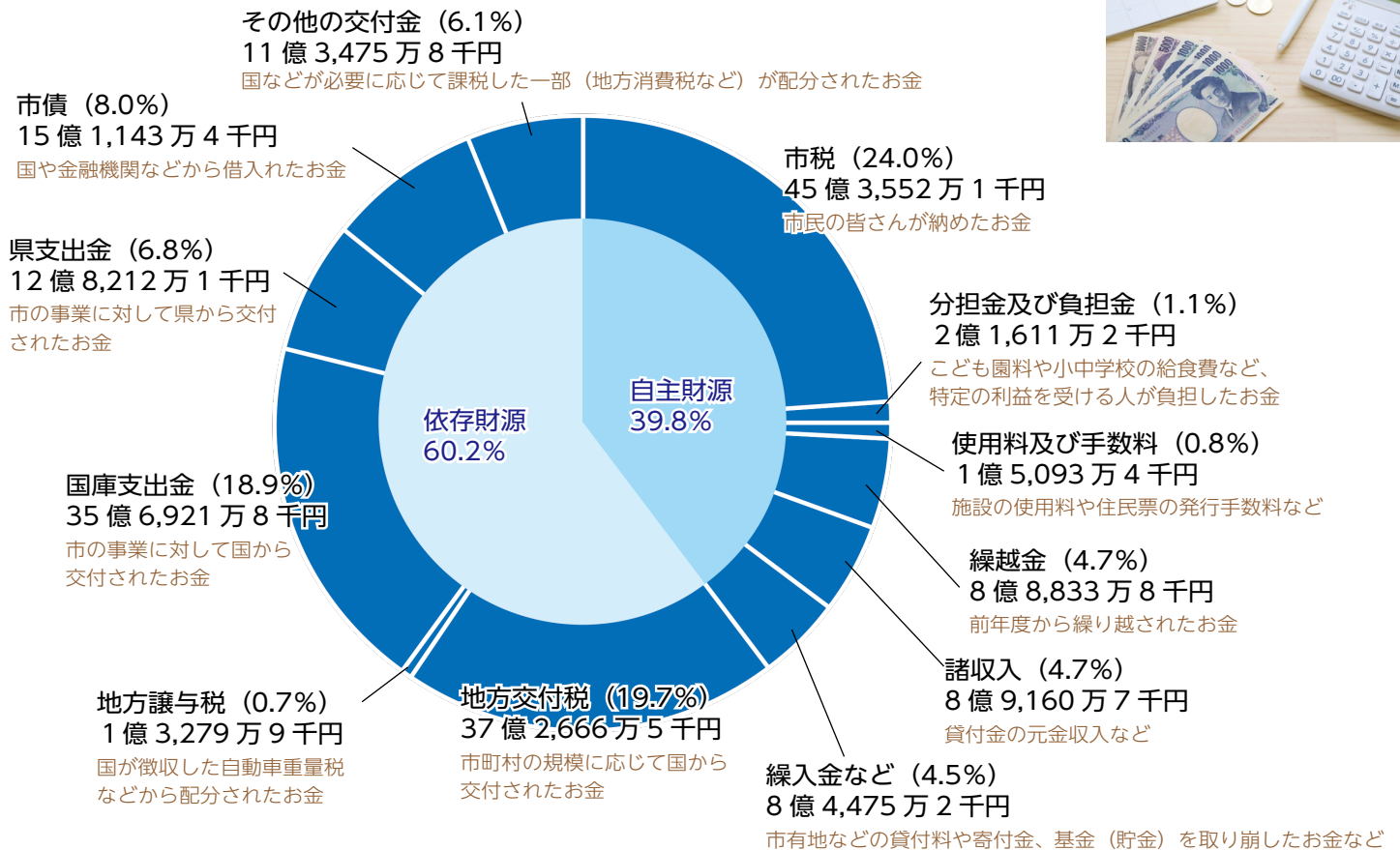
一般会計歳出決算額

176 億 4,215 万 1 千円
(対前年度比 2.7%減)

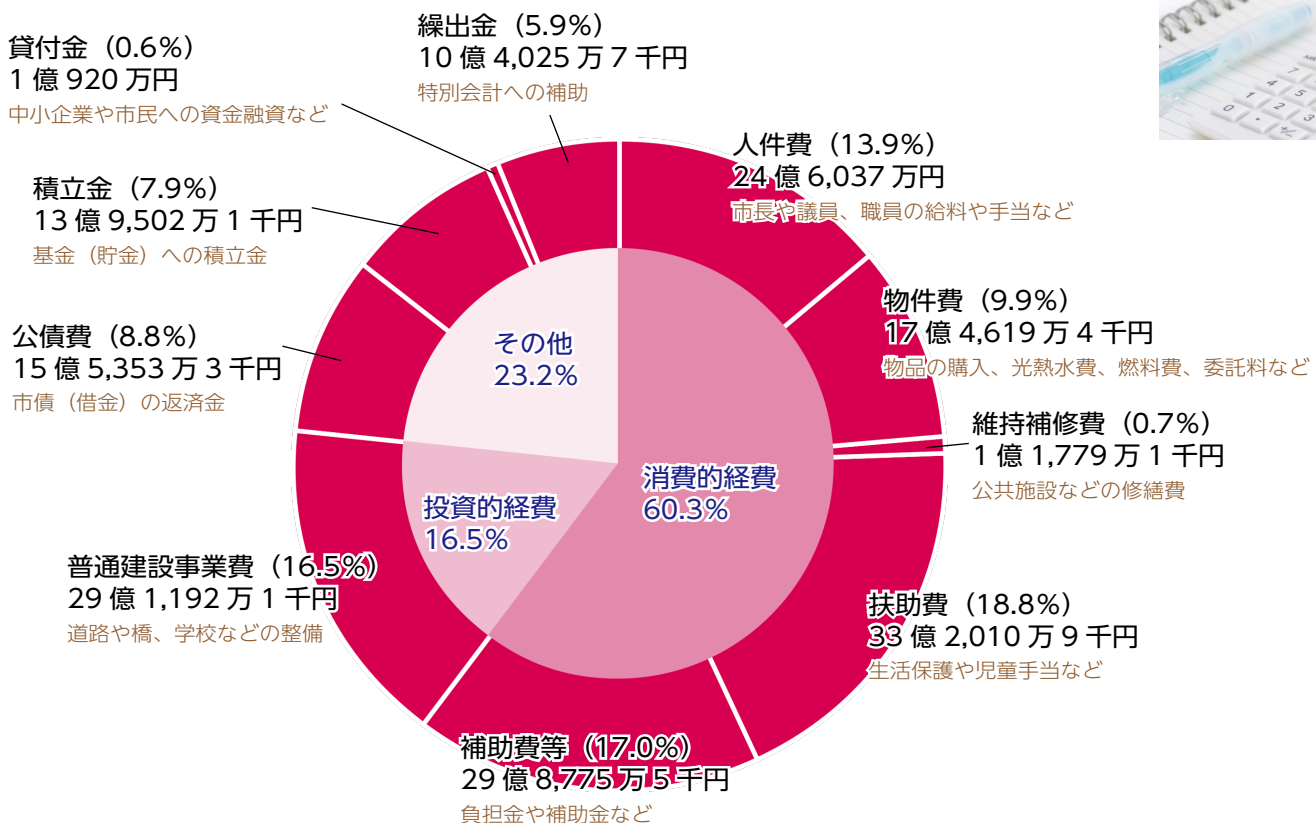
各会計の決算額 (単位：千円)

	歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C = A - B	繰越すべき財源 D	実質収支 C - D
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	18,884,259	17,642,151	1,242,108	101,241	1,140,867
特別会計 (保険料などの特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています)					
国民健康保険特別会計	3,023,627	2,923,613	100,014	0	100,014
後期高齢者医療特別会計	384,823	384,755	68	0	68
農業者労働災害共済特別会計	2,410	2,031	379	0	379
企業会計 (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	790,938	711,951	78,987	0
	資本的収支	91,587	205,449	△ 113,862	20,218
公共下水道事業会計	収益的収支	1,220,324	1,127,960	92,364	0
	資本的収支	498,549	914,339	△ 415,790	14,568

歳入総額 188 億 8,425 万 9 千円



歳出総額（性質別） 176 億 4,215 万 1 千円



歳出を目的別で見た決算額と市民1人当たりの決算額

民生費 51 億 9,842 万 4 千円 (19 万 1,937 円) 認定こども園運営、 障害者・高齢者福祉など	土木費 33 億 6,035 万 2 千円 (12 万 4,071 円) 道路、橋、公園、市営 住宅の整備や維持管理など	教育費 15 億 5,786 万 6 千円 (5 万 7,520 円) 学校、公民館、体育施設 の整備や維持管理など
公債費 15 億 5,353 万 3 千円 (5 万 7,360 円) 市債（借金）の返済	総務費 15 億 4,700 万 8 千円 (5 万 7,119 円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など	衛生費 9 億 3,137 万 6 千円 (3 万 4,388 円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など
農林水産業費 7 億 8,660 万 8 千円 (2 万 9,043 円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など	商工費 5 億 4,167 万 8 千円 (2 万円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など	消防費 5 億 3,126 万 5 千円 (1 万 9,615 円) 消防施設や災害対策など
議会費 1 億 6,959 万 7 千円 (6,262 円) 議会の運営	労働費 3,016 万円 (1,114 円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	その他 14 億 3,428 万 4 千円 (5 万 2,957 円) 基金（貯金）への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の約3分の1を占めています。これは認定こども園運営や児童手当、医療・介護保険、生活保護など福祉事業の比重が高いことによります。

歳出決算額（目的別）
 176 億 4,215 万 1 千円
 市民1人当たりの決算総額
65 万 1,386 円



※（ ）内は1人当たりの決算額。令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口（2万7,084人）で計算しています。

あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率

区 分	R3	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	(赤字なし)	13.49%	20.00%
連結実質赤字比率	(赤字なし)	18.49%	30.00%
実質公債費比率	6.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	35.8%	350.0%	(基準なし)

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市に適用される基準です。

資金不足比率

全ての公営企業会計（水道事業会計・公共下水道事業会計）において、資金不足は発生していません。

令和3年度決算に基づく各指標は次のとおりで、いずれの比率も基準以下となっています。



あわら市は
基準をクリア
 しています

主な事業の決算額一般会計

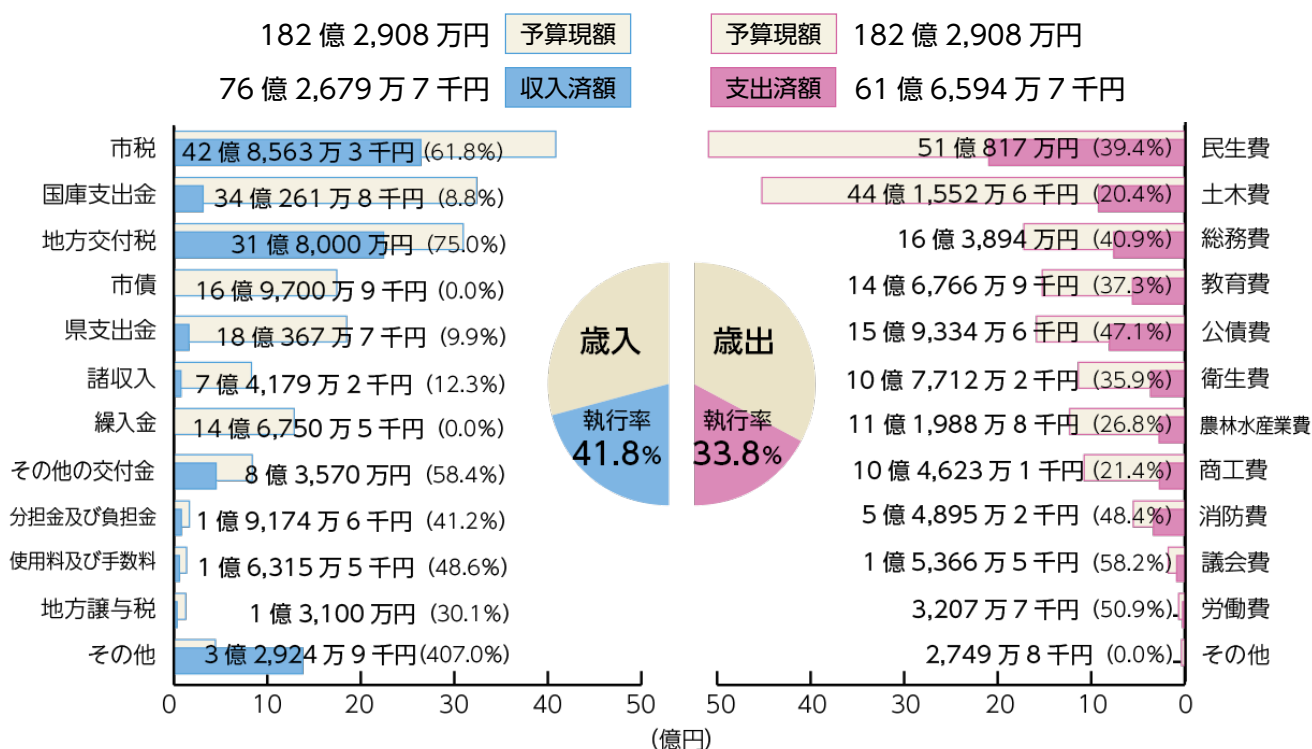
画像は全てイメージです。



令和4年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (令和4年9月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



※ 予算現額には令和3年度からの繰り越し分を含んでいます。